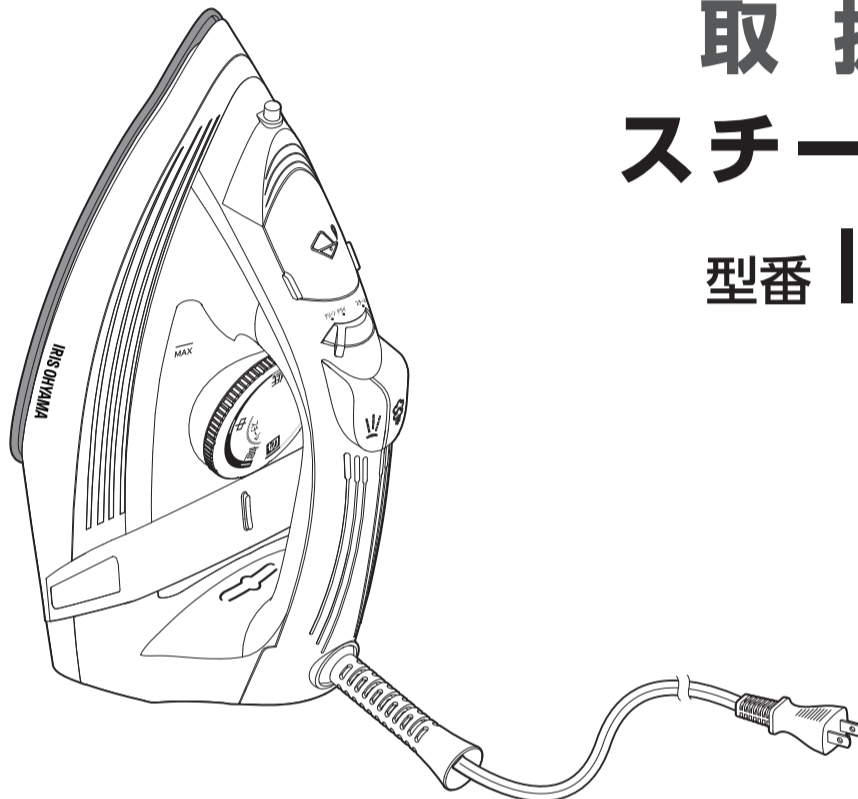


IRIS OHYAMA



# 取扱説明書 スチムアイロン 型番 IRN-212C

ご使用の前に

取り扱いかた

お手入れ

こんなときは

アフターサービス  
その他の内容と

室内・家庭用・日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# もくじ

## ご使用の前に

安全上の注意 .....	3
使用上の注意 .....	5
各部の名称.....	6
本体.....	6
付属品.....	6
絵表示の見方と温度の関係.....	7

## 取り扱いかた

使いかた .....	8
アイロンのかけかた .....	9
使い終わったら .....	11
上手な使いかた .....	12
アイロンかけの基本動作.....	12
アイロンかけのポイント.....	12

## お手入れ

アイロン本体・かけ面・スチーム噴出口 .....	13
クリーンモード .....	13

## こんなときは

故障かな?と思ったら.....	14
-----------------	----

## アフターサービスとその他の内容

仕様 .....	15
保証とアフターサービス .....	15
保証書.....	裏表紙

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

### 電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源は、交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う  
火災の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。
- 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



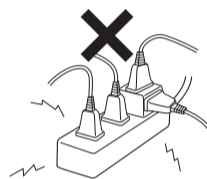
- 電源コードをたばねて通電しない  
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない  
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない  
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 乳幼児に電源プラグを触れさせない  
けがや感電の原因になります。



- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない  
火災の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない  
火災・感電・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く  
発煙・火災・感電のおそれがあります。  
【異常の例】
  - ・異常な音やにおいがする
  - ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
  - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
  - ・触れるとピリピリ電気を感じる
 →使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない  
火災・やけど・感電・けがの原因になります。
- 子どもや取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない  
感電・けが・やけどの原因になります。
- アイロンに損傷のある場合は使用しない
- 通電中はアイロンから離れない  
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で使用しない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体に水をかけない
- 本体を水洗いしない  
火災・感電の原因になります。

# 安全上の注意 つづき



## 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 湿った衣類（霧吹きした衣類）は「ドライ」でアイロンかけをする  
「スチーム」でアイロンかけをすると湯滴が出てやけどの原因になります。
- アイロンは安定したところに立てる  
毛足の長い敷物や不安定なところに置くと転倒して敷物の損傷やけが、やけどの原因になります。
- 使用していないときやアイロンを傾けるときは、スチーム切り替えレバーを必ず「ドライ」にする  
注水口やスチーム噴出口から水蒸気や水が漏れ、やけどやけがの原因になります。
- 使用後に内部に残った水は捨てる  
お湯が漏れてやけどをしたり、本体内部の変色やにおいの原因になります。



接触禁止

- 高温部（かけ面や注水タンク下部など）に触れない  
やけどの原因になります。



- アイロン内部にピンや針金などを入れない
- 衣類に縫い針などを刺したまま、アイロンかけをしない  
感電・火災・やけどの原因になります。
- ご使用途中で、アイロンを立てて置いているときは、ショットボタンを押さない  
やけどの原因になります。
- アイロンを使用中に傾けたり、前後に激しく動かしたり、落としたりしない  
かけ面先端は細くとがっているため、床面が傷付いたり、注水口やスチーム噴出口から水蒸気や水が漏れ、やけどやけがの原因になります。
- 電源コードをアイロンに巻き付けない  
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードがねじれたままで収納しない  
電源コードが断線し、ショートによる火災や感電などの原因になります。
- アイロンに水をかけないでください  
故障の原因になります。



- スチームやショットを手やひざなどにかけない
- 着用したままの衣類にスチームやショットをかけない  
アイロン台によっては、スチームが透過して、熱いスチームや湯滴でやけどをするおそれがあります。
- ショットボタンを連続して速く操作しない  
湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。2秒以上間隔をおいて操作してください。
- ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない  
湯滴が出てやけどの原因になります。
- アイロンの近くで可燃性ガスが発生するもの（ベンジンなど）を使わない  
火災の原因になります。



- 衣類の絵表示より高い温度目盛でアイロンかけをしない
- 衣類以外には使用しない  
けがや物的損害、故障の原因になります。
- 脱水直後の衣類はアイロンかけをしない  
蒸発した水分がアイロン内部に入り、故障の原因になります。

# 使用上の注意

## アイロンの故障・破損などを防ぐために

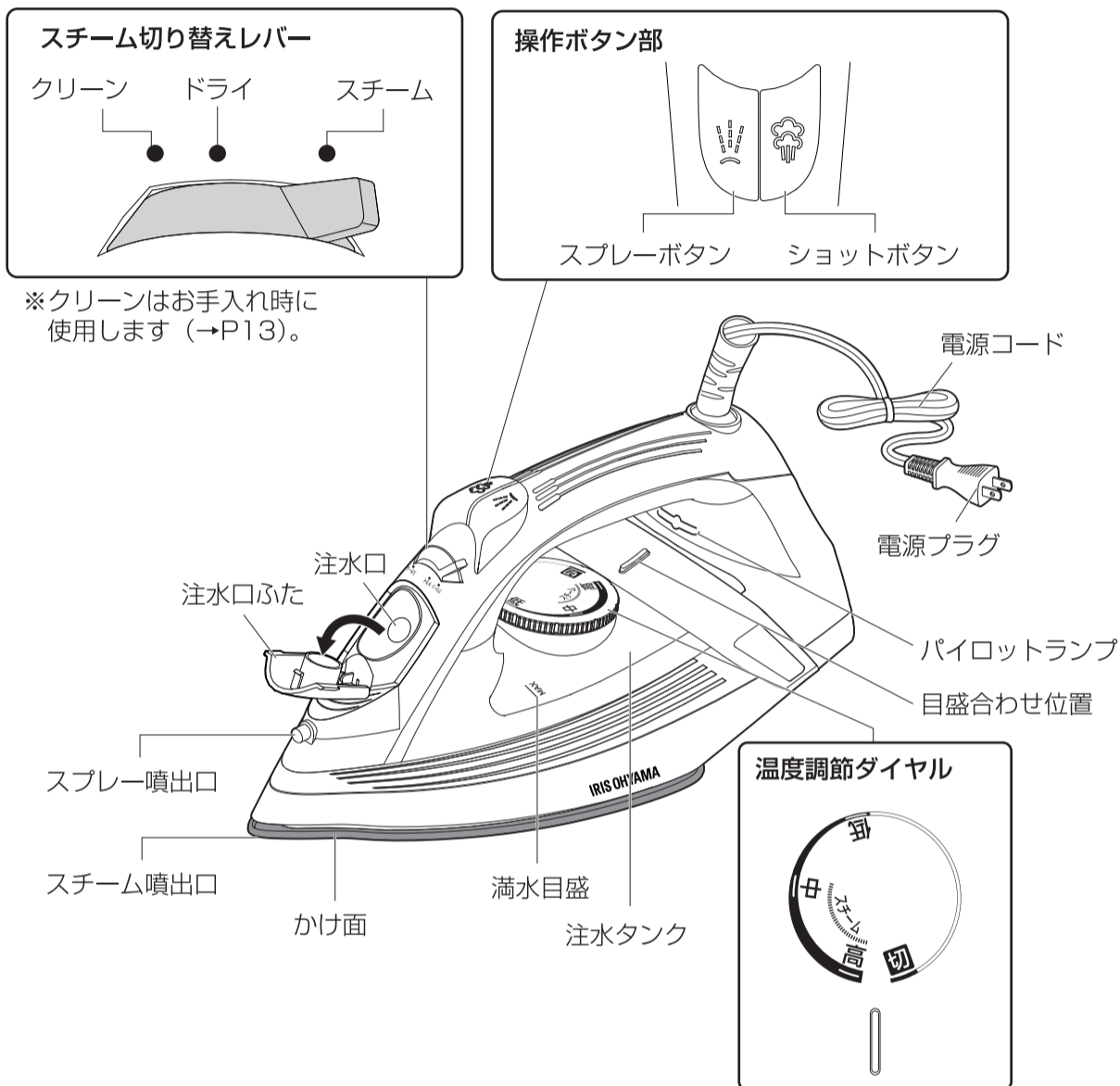
- ボタン、ファスナーなどのかたいものにはアイロンをかけないでください。  
かけ面に傷が付く原因になります。
- 業務用として使用しないでください。  
過負荷による故障の原因になります。
- 市販品のあて布用アタッチメント（かけ面カバーなど）は使用しないでください。  
故障の原因になります。
- 直射日光の当たるところに置かないでください。  
割れ・変色の原因になります。

## 衣類の汚れ・傷みなどを防ぐために

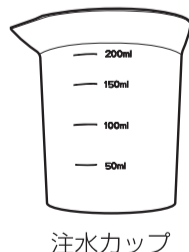
- スプレーのりは、シリコン系成分が配合されたものを使用し、「ドライ」で仕上げてください。  
シリコン系成分が配合されていないのりを使用したときは、かけ面にのりが付着して茶色く変色し、すべりが悪くなります。かけ面のお手入れをしてください。  
かけ面にのりが付いていると、衣類の汚れの原因になります。
- アップリケや接着芯などを接着するときや、布地のてかりを防止するときは、必ず「あて布」をしてください。  
温度調節ダイヤルを「高」にし、スチーム切り替えレバーを「ドライ」にして、あて布をしてください。アップリケなどに説明書が添付されているときは、その説明書にしたがってください。
- 水道水以外の液体（リネンウォーター・香料を含んだ水など）を入れないでください。  
故障や衣類を汚す原因になります。
- 高級品や特殊加工品などは、目立たないところで試しがけをしてください。  
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなどは特に気をつけてください。革製品・絹などにも使用しないでください。衣類を傷める原因になります。
- コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットをかけてください。  
衣類を傷める原因になります。

# 各部の名称




## 本体



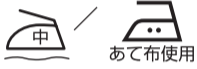

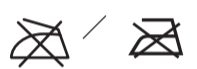
## 付属品



## 絵表示の見方と温度の関係

温度調節ダイヤル	低	中	高
スチーム	×	○	○
スチームショット	×	×	○
ドライ	○	○	○
絵表示※			
かけ面の温度	約110℃	約150℃	約190℃
設定温度になるまでの時間	約30秒	約40秒	約50秒

※2016年12月1日以前に発売された商品の絵表示は、左側のものが表示されています。

絵表示の 見かた		指定された温度であて布をする意味です。
		指定された温度で布地の裏からかける意味です。
		アイロンかけはできません。
	その他「スチーム禁止」などの表示がある場合はその指示にしたがってください。	

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 混紡の場合は、指定温度の低い方の繊維に合わせてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。

- 衣類の同じ部分にアイロンを当て続けたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは「試しがけ」をするか「あて布」をしてください。

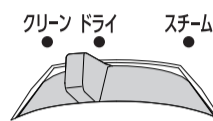
# 使いかた

- ・初めて通电したときは、多少のにおいや煙が出ることがありますが、異常ではありません。
- ・出荷前の検査により内部に水が残り、スチーム使用時に白い粉が出ることがありますが、異常ではありません。(→P14)
- ・使用中に「カチッカチツ」という音がしますが、温度調節のためにヒーターが入/切を繰り返すときに生じる音で異常ではありません。

1

## 温度調節ダイヤルを「切」に合わせる

温度調節ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えレバーを「ドライ」に合わせます。



温度調節ダイヤル スチーム切り替えレバー



**注意**

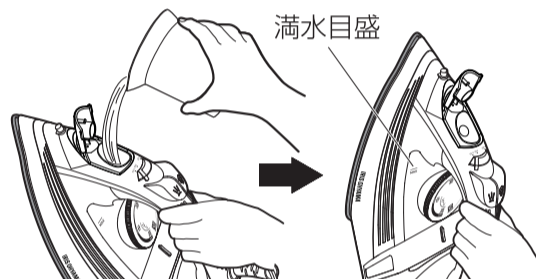
- 使用する前に、スチーム切り替えレバーを必ず「ドライ」の位置に合わせてください。「ドライ」以外の位置で水を入れると、スチーム噴出口から水が出ることがあります。

2

## 注水口ふたを開け注水タンクに水を入れる

注水口ふたを開け、付属の注水カップを使用して、水を注ぎ入れます。満水目盛 (MAX) 以上には、水を入れないでください。その後注水口ふたを閉じてください。

※ ドライアイロンとしてお使いになるときは、注水タンクに水を入れる必要はありません。



**注意**

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 注水口以外に水がかかった場合は、拭き取ってください。
- 満水目盛 (MAX) 以上の水は入れないでください。あふれたり漏れたりします。
- 注水タンクには、水道水を入れてください。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れないでください。
- スチームショット・スプレーを使用するときは、注水タンクに水が1/4以上入っている状態にしてください。

3

## 電源プラグをコンセントに差し込む



**注意**

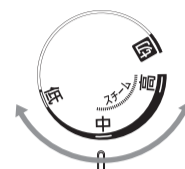
- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

## アイロンのかけかた

1

### ■ドライアイロン 温度調節ダイヤルを布地に適した 温度に設定する

衣類の取り扱い絵表示を確認して適温を設定します。(→P7)  
通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。



注意

- 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合、かけ面が冷めにくいいため適温になるまで時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、消灯してから使用してください。
- 混紡の場合は、指定温度の低いほうに合わせて温度設定をしてください。

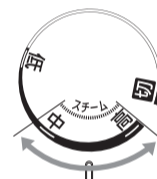
2

### パイロットランプが消灯したら、 アイロンを使用する

1

### ■スチームアイロン 温度調節ダイヤルを設定する

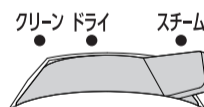
温度調節ダイヤルを回して、目盛合わせ位置を「スチーム」に合わせます。  
衣類の取り扱い絵表示を確認して適温を設定します。(→P7)  
通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。  
※ スチーム禁止の布地には使用しないでください。



2

### パイロットランプが消灯したら、ア イロンを水平にし、スチーム切り替 えレバーを「スチーム」に設定する

※ 使い始めのうち、スチームが出るまで時間がかかることがあります。  
※ スチームの出が悪いときは、ショットボタンを数回押して、スチームを出してください。  
※ 使い始めは、スチームと一緒に空気が出るので、大きな音が出る場合があります。内部の空気が抜けるにつれて、音は小さくなります。



3

### アイロンを水平にして、スチーム アイロンを使用する

※ アイロンを水平にすると、スチーム噴出口からスチームが噴出します。




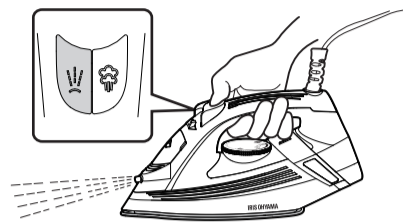
注意

- 使用中に本体を傾けたり、前後左右に激しく動かしたりしないでください。注水口やスチーム噴出口から水蒸気や水が漏れ出ることがあります。

# 使いかた つづき

## ■スプレー（霧吹き）

布地に霧吹きをするときに使用します。  
アイロンを水平にし、衣類から10cm程度離して、スプレーボタン（)を押してください。  
※スプレー噴出口からスプレーが噴出します。  
※スプレーは、スチーム切り替えレバーが「ドライ」でも「スチーム」でも使用できます。



注意

- 目立たないところで試しがけをしてから使用してください。
- 初めてお使いになるときは、数回スプレーを空噴きしてからご使用ください。

1

## ■スチームショット

強力なスチームで、毛製品のしわのばしやセーターなどのふっくら仕上げに使用します。

### 温度調節ダイヤルを「高」にする


通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。



2

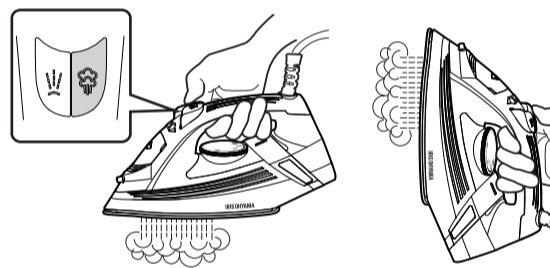
## パイロットランプが消灯したら、ショットボタン（)を押す

アイロンは、水平・垂直どちらでも使用できます。

ショットボタン（)を押すとスチーム噴出口からスチームが噴出します。

※ショットは2秒以上間隔を空けてください。

- 初めて使用するときには、スチームからのおいがすることがありますが、ご使用とともになくなります。
- かけ面の温度が上がらないうち（パイロットランプが消灯しないうち）や、温度調節ダイヤルを「中」より低い温度に設定した場合は、スチーム噴出口から水や熱湯が噴き出すことがありますので注意してください。
- 満水時に前後に激しく動かすと、注水タンクから水がもれることがあるので注意してください。
- アイロンは逆さまにしないでください。水や熱湯がこぼれてやけどをしたり、衣類を汚したりすることがあります。



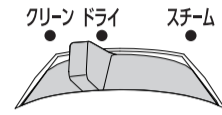
## 使い終わったら

1

温度調節ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えレバーを「ドライ」にする



温度調節ダイヤル



スチーム切り替えレバー

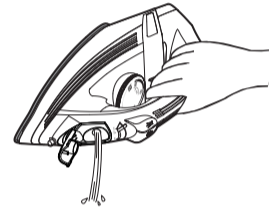
2

電源プラグをコンセントから抜く  
電源プラグを持ってコンセントから抜きます。

3

注水タンクの水を捨てる

注水口ふたを開け、本体を逆さにして注水タンクに残った水を捨てます。捨て終わったら、注水口ふたを閉じます。



注意

- 内部に残った水は、必ず捨ててください。本体内部の変色やにおいの原因になります。
- 水を捨てるときはやけどに注意してください。
- 冷えてから排水したときは、温度調節ダイヤルを「高」に設定し、スチーム切り替えレバーを「ドライ」に設定して、約5分間通電して乾燥させてください。

4

安全な場所に立てて保管する

本体やかけ面が十分に冷めてから、平らで安全な場所に立てて保管してください。



注意

- 使用後は、必ずスチーム切り替えレバーを「ドライ」の位置に合わせてください。「スチーム」の位置にあると、注水タンクに残った水がもれるおそれがあります。

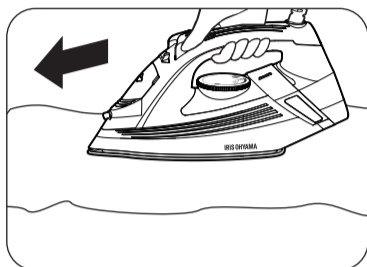
取り扱いかた

# 上手な使いかた

## アイロンかけの基本動作

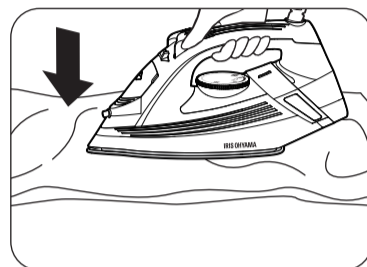
### すべらす

もどりじわを防ぐため一方向に軽くかけます。



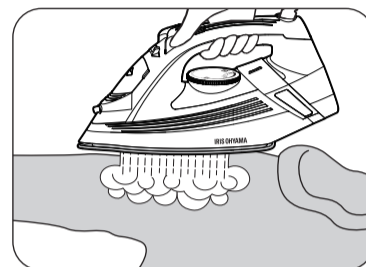
### 押さえる

ガンコなしわ、厚手の布地の折り目つけなどはしっかり押さえます。



### 浮かせる

ふっくら仕上げには軽く浮かせてスチームをかけます。



- アイロンをかけるときは、片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら、両手を上手に使いましょう。

**お願い** ● ボタン・ファスナーなどのかたいものにはアイロンをかけないでください。かけ面のコーティングがはがれる原因になります。

### ●綿や麻などには霧吹きをしましょう

綿や麻などはスプレー（霧吹き）をしてから「ドライ」でかけるときれいに仕上がります。

### ●効率のよいアイロンかけをしましょう

アイロンかけの前に衣類を分類し、薄地のものから厚地のものへかけます。

### ●かけ面に衣類がからみつくときには

静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

## 市販のスプレーのりや洗濯のりをご使用になるときは

スプレーのり…「ドライ」で仕上げます。

- ・「パリッ」と仕上げたいときは「スプレーのり→ドライ」をくり返します。
- ・焦げ付きを防ぐため、スプレーのりはシリコン系が配合されたものをお使いください。（一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面の焦げ付きの原因になります。）

洗濯のり…のりづけ後、布地が乾いてから「ドライ」で仕上げます。

- ・しわが取れにくいときはスプレー（霧吹き）をお使いください。かけ面にのりが付着することがありますが、そのときは下記のようにお手入れしてください。

### すべりが悪くなったときは

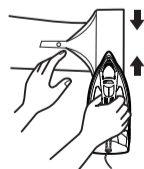
- ・かけ面が十分に冷めてから、ぬれた布でふいてください。かけ面にのりがついてると、衣類の汚れの原因になります。

## アイロンかけのポイント

### ワイシャツ

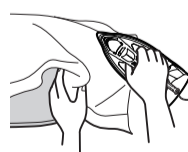
#### カフス

裏からアイロンをかけます。ぬい目を引っ張りながら、中心に向かってかけます。



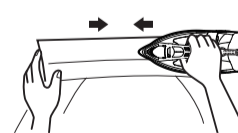
#### 肩・ヨーク

アイロン台の先端を使ってかけます。



#### えり

ぬい目を引っ張りながら端から中心に向かってかけます。



### セーター

全体の仕上げ

アイロンを浮かせて全体にスチームショットをかけます。

### ズボン

たるんだ部分や伸びた部分など

らせん状にスチームショットをかけます。

# お手入れ



## 注意

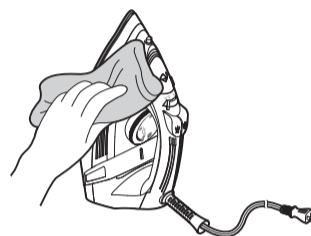
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体・かけ面が十分に冷めてからお手入れしてください。やけどのおそれがあります。
- 直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。
- 研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使用しないでください。表面を傷付ける原因となります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。表面を傷付ける原因となります。

## アイロン本体・かけ面・スチーム噴出口

においや汚れが気になるとき

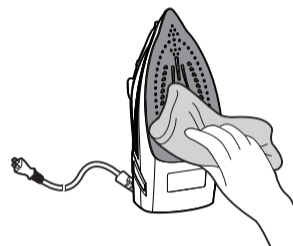
### アイロン本体

- やわらかい布で拭きます。汚れが取れにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いた後、洗剤が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。



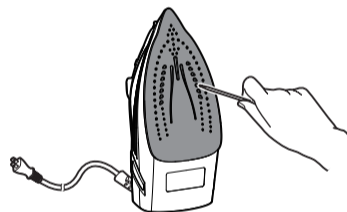
### かけ面

- スプレーのりを使った後や汚れが付着したときは、その都度ぬれた布で拭いてください。



### スチーム噴出口

- スチーム噴出口が詰まっている場合は、つまようじなどでごみや水あかなどを取り除き、ぬれた布で拭いてください。

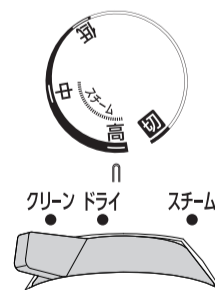


## クリーンモード

必要に応じて1～2か月に1回

勢いよくスチームを噴出して、アイロン内部の水路の詰まりを取り除き、スチームの通りをよくする機能です。不要な布や洗面器等の上で行ってください。

- ①注水タンクに水を入れ、電源プラグをコンセントに差し込む
  - スチーム切り替えレバーは「ドライ」に合わせる
- ②温度調節ダイヤルを「高」にする
- ③パイロットランプが消灯したら、スチーム切り替えレバーを「クリーン」に合わせ、指で約5～10秒ほど押さえる
  - 「クリーン」の位置ではスチーム切り替えレバーは固定されません。
- ④使用後は温度調節ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えレバーを「ドライ」にして、電源プラグを抜き、注水タンクの水を捨てる



## 注意

- 蒸気や熱い水滴が勢いよく出るので、やけどに注意してください。
- 「ドライ」に戻した後も内部に残った水滴が出ることがあります。水滴が出るときは、かけ面が十分に冷めた後にやわらかい布で拭きとってください。

# 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態	原因・処置
熱くならない	電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
スプレーが出ない	注水タンクの水がなくなっていないですか？ 注水タンクに満水目盛 (MAX) まで水を入れてください。
スチームが出ない ショットが出ない	注水タンクの水がなくなっていないですか？ 注水タンクに満水目盛 (MAX) まで水を入れてください。
	スチーム切り替えレバーが「ドライ」の位置になっていませんか？ スチーム切り替えレバーを「スチーム」の位置に合わせてください。(→P9)
	温度調節ダイヤルが「高」または「中」になっていませんか？ 温度調節ダイヤルを「高」または「中」に合わせてください。
	スチーム噴出口にごみや水あかが詰まっていますか？ つまようじなどで噴出口の詰まりを取り除いてください。(→P13)
	通電直後に使用していますか？ パイロットランプが消灯してから使用してください。 スチームが出にくいときは、「クリーン」でお手入れをしてください。(→P13)
水漏れ・湯滴が出る	低い温度でスチームを使用していませんか？ 温度調節ダイヤルを「スチーム」の範囲内に合わせてください。(→P9)
	連続してショットボタンを押していませんか？ 温度調節ダイヤルを「高」の位置で2秒以上間隔を空けてショットしてください。
	スチーム切り替えレバーが「スチーム」になっていませんか？ スチーム使用時以外はスチーム切り替えレバーを「ドライ」に合わせてください。 使用後は注水タンクの水を捨て、立てて収納してください。
アイロンをかけると 布地が焦げる	布地にあった温度に設定していますか？ 温度調節ダイヤルを適温に合わせるか、あて布をする。(→P7)
	温度調節ダイヤルを高い温度から低い温度に変えた直後に使っていませんか？ かけ面が冷めにくいので、温度が下がるのに時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
アイロンをかけると 衣類が汚れる	きれいな水を使用していますか？ 水を入れるときは、付属の注水カップを使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。
	かけ面が汚れていませんか？ かけ面やスチーム噴出口の汚れやごみを取り除いてください。(→P13)
スチーム使用時に 白い粉が出る	水に含まれるカルシウムなどのミネラル成分が出たもので、異常ではありません。 スチームを使用する前に、不用な布の上で数回ショットしてから使用してください。衣類に付着した場合は払うと取れます。

それでも解決できないときは  
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



**警告**

●ご自分で分解・修理・改造  
をしないでください。

# 仕様

定格電圧	AC 100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	1100W
種類	スチーム・ドライ兼用
蒸気発生方式	滴下式
注水量	約210mL
自動温度調節器	調整範囲 約110℃～約190℃
温度過上昇防止装置	温度ヒューズ
製品寸法	長さ270×幅112×高さ129mm
製品質量	約0.84kg
電源コード長さ	約1.5m
アイロンの置き方	自立式

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## ■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

## ■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。  
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

## ■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

## ■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

こんなときは

アフターサービス  
その他の内容と

## スチームアイロン 型番IRN-212C

## 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、付属品（注水カップ）を除く	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
電話 ( ) -		住所・店名	
電話 ( ) -		電話 ( ) -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
  - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
  - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
  - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
  - 本書の提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

## アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日  
Web即時回答サービス



製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）

**アイリスコール 0120-311-564** **修理専用コール 0800-170-7070**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く） 9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。